

Ikuhou 通信 ~10月号~

令和 5 年 9 月 1 日発行

育宝進学塾ホームページ: <https://www.ikuhou.com>

飯能教室: ☎ 042(972)5543 ✉ hannou@ikuhou.com
 入間教室: ☎ 04(2963)2376 ✉ iruma@ikuhou.com
 小川教室: ☎ 0493(73)2221 ✉ ogawa@ikuhou.com
 東松山教室: ☎ 0493(81)4970 ✉ higashimatsuyama@ikuhou.com
 武蔵藤沢教室: ☎ 04(2902)6910 ✉ musashi-fujisawa@ikuhou.com
 新所沢教室: ☎ 04(2968)6835 ✉ shintokorozawa@ikuhou.com

最新情報

令和 6 年度埼玉県公立高校入試の募集人員が発表されました。

学校名	学科等	男女共	募集人員	備考
浦和	普通	男	360	
浦和一女	普通	女	360	
大宮	普通	共	320	
川越	普通	男	360	
川越女子	普通	女	360	
熊谷	普通	男	320	
所沢北	普通	共	320	
熊谷女子	普通	女	320	
所沢	普通	共	360	
坂戸	普通	共	320	

学校名	学科等	男女共	募集人員	備考
松山	普通	男	280	
川越南	普通	共	360	
松山女子	普通	女	320	
所沢西	普通	共	320	40人減
入間向陽	普通	共	320	
坂戸西	普通	共	320	
小川	普通	共	200	
豊岡	普通	共	320	
飯能	普通	共	280	
川越西	普通	共	320	

教室からお知らせ

小学生統一テストについて

9月8日から各授業時間を使って「統一テスト」が実施されます。「夏あれだけ勉強したのだから」と楽観せずしっかりと準備しましょう。

中1・中2対象「特別講座」

9月から土曜日を使って「特別講座」が実施されます。単元をしぼって1回150分で実施されます。主にテスト対策として英数理社の授業を行います。別紙案内をご覧ください。

10月の予定

保護者会について(オンライン実施)

10月15日(日)・22日(日)に保護者会を開催します。中学3年生の保護者の方はもちろんのこと、小学5年生～中学2年生の保護者の方も、最新の情報を取り入れることで、お子さまの今後の生活をより充実したものにする一助になればと思います。今回は新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、オンライン(zoom配信)での実施となります。何とぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

－ 日 時 －

中3：10月15日(日)・22日(日) 10:00～

小5・小6：10月15日(日)・22日(日) 13:00～

中1・中2：10月15日(日)・22日(日) 16:00～

※各学年2日間からお選びいただけます。両日とも同時刻での実施となります。
詳細は別紙案内をご覧ください。

各検定と北辰テストについて

英語検定：09/30(土)実施 09/01(金)×切
※2次試験：11/12(日)
漢字検定：10/28(土)実施 09/22(金)×切
数学検定：10/14(土)実施 09/08(金)×切
北辰テスト：10/01(日)実施 ※中3対象

県立高校は受験時に加点、私立高校は受験時に「各検定で特典」を与える学校が増えています。早くからの取得が大切です。

中3入試特訓について

偏差値が受検者の順位を表すことはご存じのとおりです。そのため、自分では頑張っているつもりでも周囲の頑張りがそれに勝れば『偏差値は相対的に下がってしまう』こともあります。そのような事態に対応するためには、①集中した学習時間を増やす ②学習内容を吟味し、適切な内容に絞って学習すること が必須です。

この『学習量の確保と質の向上』は家庭では難しいため、育宝進学塾では二学期と三学期にわたり特訓授業を行っています。今年度は9月9日から原則土曜日に授業を行います。1日に英数国理社の授業があるため、1週間の授業時間は一挙に増加します。保護者の皆様には諸般の事情をご高察のうえ、ご理解とご協力を頂ければと思います。

詳しくは、以前お配りした案内をご覧ください。

保護者様への情報コーナー

今月のテーマ：子どもに期待を伝える！

子どもに過剰な期待を抱くことは避けなければなりません、全く期待をかけないというのも、子どもの成長を阻害してしまいます。過大評価も過小評価も、子どもにとっては迷惑な話なのです。

しかし、そうは言っても、子どもに期待してしまうのは親の性です。親としてついつい過大に評価をしてしまいがちになりますし、その裏返しとして過小に評価をしてしまう場合もあるものです。それは、避けては通れないことなのですが、それでも、過大評価にも過小評価にも陥らないで期待をかけられるとすれば、どうすればよいのでしょうか。難しい問題ですが、子どもの行動に注目して、その行動を評価していくことではないでしょうか。

父：最近、頑張ってるな！

A：え～。そうでもないよ。

父：去年だったら、部活だ文化祭だと言って、全然勉強に手がつけられていなかっただろ。今年、自分なりに勉強を計画的に進めているように見えるけど。

A：そうかな？まあ、受験生だからかな。

父：そうか、受験生だからか。受験の意識が出てきたんだね。それにしても、A君が、一年間で成長したってことだよ。お父さんは、ちょっと自慢だな。こんな息子を持って。

A：何言ってるんだよ。お父さん、ちょっと疲れてるんじゃないの？急に子どもにお世辞を言ったりして。

父：そんなことないよ。お父さんは、感じたまま言っただけだよ。

A：そう。ありがと。

このお父さんは、評価軸をしっかり伝えています。「勉強を計画的に進めている」ということが、評価に値することだと伝えていますし、去年と違った息子の行動をうれしく思うと気持ちも伝えています。こういう表現が、子どもに期待を感じさせるのです。行動の承認や成長の承認をしっかりすることが、子どもに期待を寄せる表現になります。ぜひ、こういう表現を時には使って、子どもに期待を伝えてください。

このコーナーでは、保護者の方へ、
お子様との関わり方についてお伝えしていきます。

**お近くで塾を探しているお子様や保護者様はいらっしゃいませんか??
ぜひ、育宝進学塾にご紹介ください。**

お問い合わせTEL 0493-73-2221 谷までご連絡ください。